

2016年11月14日

いすゞ、中型トラック「フォワード」を改良し発売

-完成車「フォワード Fカーゴ ウイング」、クラス初<sup>※1</sup>の安全装置標準化-

いすゞ自動車株式会社(本社:東京都品川区、社長:片山 正則、以下いすゞ)は、中型トラック「フォワード」の一部車型を改良し、本日より全国一斉に発売します。



今回の改良では中型トラック完成車「Fカーゴ ウイング」(GVW8t未満)に、従来はオプションとして設定していた「先進視覚サポート技術(VAT)<sup>※2</sup>」ならびに、「電子式車両姿勢制御システム(IESC)」を、クラス初<sup>※1</sup>の標準装備としました。

国土交通省によると、運送事業において発生する自動車事故のうち重傷・死亡に繋がる重大事故の件数は、GVW20t超の大型車が最多で、次いで多いのがGVW8tクラスとなっています。<sup>※3</sup>

幹線輸送に幅広く使用されている「Fカーゴ ウイング」(GVW8t未満)に、これらの安全装置をいち早く標準化する必要があると判断しました。<sup>※4</sup>

※1 2016年11月14日現在、いすゞ調べ。国内中型トラック。

※2 高精度のミリ波レーダーや各種センサーを駆使し、ドライバーの視覚をサポートするテクノロジー(「プリクラッシュブレーキ(衝突回避支援機能/衝突被害軽減機能)」、「ミリ波車間ウォーニング」、「LDWS(車線逸脱警報)」)。

※3 国土交通省「自動車運送事国土業に係る交通事故要因分析検討会報告書(平成26年度)より。

※4 大型トラック「ギガ」シリーズには、既に安全装置を標準装備しています。

主な特長は以下の通りです。

- ・現在、オプション展開している以下の安全装置の展開について標準化を行います。
  - (1) プリクラッシュブレーキ(衝突回避支援機能/衝突被害軽減機能)は追突の可能性が高まると自動ブレーキ制動により衝突を回避、衝突が避けられない場合には強いブレーキで被害軽減を図ります。
  - (2) ミリ波車間ウォーニングは、走行中、先行車との車間距離の変化をマルチインフォメーションディスプレイに表示します。任意に設定した車間まで先行車の距離が縮まった場合に警報音を発し、注意を促します。
  - (3) 車線逸脱警報装置(LDWS)は、車内搭載のカメラにより、車線に対する車両位置を検出し、車線を逸脱した場合に警報音とメーター表示による警告を促し、わき見運転や居眠り運転による事故の抑制に貢献します。
  - (4) 電子式車両姿勢制御システム(IESC)はドライバーの操作状況や車両挙動をセンサーで検知し、横滑りや横転につながる不安定な車両姿勢と判断された場合に警報音とメーター表示による警告と同時に、エンジンおよびブレーキの自動制御を行い、事故の抑制に貢献します。

< 目標販売台数(国内) >

4,000 台/年

< 東京地区希望小売価格 >

車型	主な仕様	エンジン/ トランスミッ ション	東京地区希望小売価格	
			消費税抜	消費税込
TKG - FRR90S2	平成 27 年度重量車燃費基準達成 ポスト新長期規制適合 平成 21 年低排出ガス車認定取得 F カーゴ・GVW8t 車 フルキャブ・リーフサスペンシ ョン プリクラッシュブレーキ標準装 備 ミリ波車間ウォーニング標準装 備 車線逸脱警報(LDWS)標準装備 電子式車両姿勢制御システム (IESC)標準装備	4HK1 - TCS 154kW(210PS) 6 速 Smoother - Fx	10,634,000 円	11,484,720 円

「プリクラッシュブレーキ(衝突回避支援機能/衝突被害軽減機能)」「ミリ波車間ウォーニング」「車線逸脱警報(LDWS)」「電子式車両姿勢制御システム(IESC)」は、ドライバーの安全運転と車両安定性を支援するシステムであり、車両の限界を超えた走行を可能にするものではありません。本装置を過信せずに、常に安全運転を心掛けてください。

関連ページ

[ISUZU：フォワード\(中型トラック\)](#)

以上